

『一人の笑顔のために』

ウサギとカメ

先日、お知らせいたしましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、本年度の玉名荒尾中体連総合体育大会夏季大会及び陸上競技大会の中止が決まりました。これまで、中学校最後の中体連大会に向けて一生懸命に練習に取り組んできた3年生にとっては、とても残念な決定ですが、新たな目標に向かって歩みをすすめてほしいと願っています。



表題の「ウサギとカメ」の童話は、みんな知っていると思います。どうしてウサギはカメに負けたのでしょうか。次のような見方があります。

端的に言えば、ウサギとカメでは「見ているところが違った」ということです。

ウサギは何を見ていたのか。ウサギはカメを見ていました。

ウサギの目的は、カメに勝つことだったので。

だから、ノロノロとやってこないカメに、油断をしてしまったのです。

対するカメは何を見ていたか。ゴールを見ていました。

カメの目的は、ゴールに辿り着くことだったので。

カメがウサギを見ていたら、昼寝をしているウサギを見て、自分も休んでしまったかもしれません。ところが、カメはそうしなかった。ゴールを見ていたからです。

部活動の目的も、試合で相手に勝つことだけではないと考えています。これまで部活動を続けてきたみなさんは、活動を通してさまざまなことを学び、身につけてきたことだと思います。中体連大会はありませんが、それぞれのゴールを目指して、引退の日まで頑張ってくれることを期待しています。(すでに、毎日一生懸命に部活動に取り組んでいる3年生の姿を目にすることができています。)

実は、この「ウサギとカメ」の話には、続きがあります。

競争に負けたウサギは、カメにリベンジマッチを申し込んだのです。

カメは、喜んで引き受けました。返事を聞いたウサギは、テレビや新聞などの報道機関に宣伝し、世紀のリベンジマッチとして大々的に報道してもらい、前回の名誉挽回をねらいます。

レースの結果はウサギの圧勝でした。翌日の新聞には、報道陣に囲まれて得意満面なウサギの姿の後ろに、遅れてゴールしたばかりのガッツポーズをしたカメの姿が、小さく写っていました。

新聞記事でその写真を見た他の動物が、「完敗したのに、なぜガッツポーズをしていたの？」と尋ねると、カメは答えました。

「だって、前回よりタイムが良かったから・・・」

本当の敵は、相手ではなく、自分自身なのかもしれませんね。